

### 特別寄稿について

岩手医科大学歯学会，岩手県歯科医師会共催で行われたシンポジウム「東日本大震災から5年を振り返って」では，岩手県歯科医師会，岩手県歯科衛生士会，岩手県行政，岩手医科大学ならびに被災した歯科診療所の経験と活動が紹介されました。一口に震災体験と言って，被災した場所，立場などによりその内容は違っており，震災や，そこからの復興に対する思いもまた違っていることを知らされたと同時に，今後の大規模災害にそなえ，東日本大震災と津波を体験した歯科保健医療従事者が語り継いでいかなければならない事柄がある程度は明確になったのではないかと考えます。一方，東日本大震災と津波による被害は岩手，宮城，福島の3県で特に甚大でしたが，福島県においては津波の

みならず原発災害という，他県とは異なる災害を経験し，現在までその影響は続いています。その重大さは同じ被災県に住む我々にも計り知れず，ともに復興を目指す者たちとして，その経験を知ることは重要と考え，本シンポジウムのプロシーディングに加え，福島県いわき市で震災を体験した中里迪彦先生に特別寄稿をお願いしました。2011年3月11日の震災発生後数か月間の状況についての詳細なご報告であり，震災からの5年間を振り返る本シンポジウムの趣旨からは幾分外れますが，原点である3.11を思い起こすことで，我々が被災地の復興のためにこれから何をしていくべきか改めて考える標になろうかと思えます。

岩手医科大学歯学会編集担当 石崎 明  
同，学術担当 岸 光男